

こども発達支援センターBee（児童発達支援）自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	○			活動を行うスペースと、個別で落ち着いて過ごせるスペース等、お子さんの要望に応じて過ごすことができるよう、活動場所を確保しています。 コロナ禍においては密状態を作らないよう工夫しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	○			お子さんに適切な活動提供できるよう、看護師や保育士など指定上必要な職員配置を行っています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			建物は車椅子でも入れるようフラットな構造になっています。 視覚支援や文字での伝達等、お子さんに合わせた配慮を行っています。
業務改善	④	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか		○		感覚過敏の強いお子さんが少しでも快適に過ごせるようさらに工夫していく必要があります。
	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			毎日スタッフミーティングを行い、情報共有やケース検討、改善点等について話し合っています。
	⑥	保護者等向け評価により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			定期的な面談のほか、利用者アンケートを実施することで、保護者の意向を把握し、業務改善に繋げています。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			法人のホームページで公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は実施していません。今後、検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的な内部研修・外部研修を実施するとともに、研修や書籍についての情報共有を行っています。今後はより研修内容を精査し専門性を担保していかれるようにしていきます。

⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			ご家族との面談やケア会議の内容、普段の活動の様子等からアセスメントをスタッフ間で協議をし、個別支援計画を作成しています。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		事業所ではアセスメントツールを使ったアセスメントはしていませんが、医療機関で検査した結果をご家族からいただき、それに基づき支援を行うようになっています。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			現在の個別支援計画は「（ご本人の）発達支援」の内容が主となっています。実際の支援にあたっては家族支援や地域支援も必要となるため、書式の工夫などを検討していきたいと思います。
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか				情報の共有化を図りながら、支援を行っています。
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムは職員間で協議・検討のうえ決定し、クラスごとに細かな設定や準備を行っています。
⑮	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			活動を考える職員を固定しないようにするとともに、季節に合わせた活動なども取り入れています。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜に組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			お子さんの要望や状況に合わせて、適宜活動スペースを分けることや個別対応できるように、計画を作成・実施しています。
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	○			クラスごとにミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担について確認をしています。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			支援終了後、特筆すべき出来事についてはその日のうちに責任者と共有し、それ以外の出来事については翌日以降のミーティングで情報共有しています。
⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			サービス提供記録票に日々の記録を残し、支援方法の見直しや検討を行っています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6か月に1回モニタリングを実施し、支援計画の見直しを行っています。それ以外にも、その時のお子さんの状況に応じて計画の見直し、支援方法の変更なども検討しています。

②①	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者や、支援担当者が会議に参加しています。
②②	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて、担任の先生や保健師、医療等子育てにかかわる関係者と連絡を取り合い情報共有しながら、チームで支援を行っています。
②③	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○			医療ケアが必要なお子さんを受け入れる際は、ケアの方法や緊急時の対応等を主治医と確認のうえ、連絡体制を確保しています。
②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医等や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			年に1回程度、医療機関との合同の支援会議を実施するように努めています。会議では医療的ケアの手技の引継ぎや発達支援の方向性に関して話をしています。
②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			他機関の利用開始前には支援の引継ぎを行うほか、支援会議を開催し、利用後も必要に応じて連絡を取り合い情報共有に努めています。
②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			移行に向けての支援会議で情報共有を行うほか、必要に応じて連絡を取り合うなどしています。
②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか				ケア会議等への参加を依頼するようし、支援の統一を図るため必要に応じて相談しています。
②⑧	保育所や子ども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保育園や幼稚園との併用児童も多く、特別に交流する機会は作っていません。
②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議棟へ積極的に参加しているか	○			長野市障害ふくしネットの専門部会(こども部会)の開催する事業所連絡会等に参加しています。
③⑩	日頃から子どもの状況や保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	○			送迎の際や電話連絡、面談等を通じて、保護者と情報共有を行い、共通理解を図っています。

保護者への説明責任等	③①	保護者対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○			Bee独自では行っていませんが、療育コーディネーター主催の保護者対象の研修会等の情報提供を行っています。
	③②	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか				契約内容等に変更があった場合には、その都度保護者等に説明をしています。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			児童発達支援計画の作成後、保護者との面談の中で支援内容の説明をさせて頂き、同意を得て支援しています。
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎の際や電話連絡、面談等を通じて、保護者と情報共有を行い、助言を行っています。また、随時面談の希望があれば時間を設けてお話を聞きしています。
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		父母の会などの情報提供の依頼を受けた場合は提供しています。今年は新型コロナの影響もあり、行事や保育参観が実施出来ないこともあったため、家族同士の交流の場を設けることが難しい状況でした。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			送迎の際や電話連絡、面談等を通じて相談をお受けしています。また必要に応じて必要な助言や、関係機関の紹介を行っています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人ホームページのブログで活動の紹介や報告を行っています。行事予定連絡等はスピード感と丁寧さに配慮していきたいと思っています。
	③⑧	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			個人情報に係る同意書を取り交わすとともに、職員に対しては研修等で個人情報の取り扱いについて注意喚起を行っています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか				日々の連絡ノートやサービス提供記録表に子どもの活動の様子や支援方法などを記入するようにしています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルス感染予防のため、地域の感染状況をみながら、イベント等は規模の縮小や中止で対応しました。

非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか				利用ガイドなどで避難場所等の説明を行っていますが、利用児童やご家族への周知は十分でないため、周知方法など検討し進めていきます。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			月に1回避難訓練、年に2回の消防署への通報訓練を行っています。地震や火災などの訓練以外の災害や不審者対応などの訓練も今後充実させていく必要があり、検討していきます。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			受入れ前のケア会議の際に保護者の方と確認しています。
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			職員間で共有し、医師の指示書に基づき除去食の提供を行っています。また、複雑な食物アレルギーのあるお子さんについては事故防止のため昼食の提供を行っていません。
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			活動の振り替えりをする中で共有し検討しています。今後も様々な事例から検討する機会を作り、支援にはいる職員に事故防止に対する意識が共有されるよう、さらに工夫をしていきます。
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内で全職員を対象とした虐待防止研修を行うほか、外部研修の案内や参加をしています。
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			身体拘束は行っていません。